

学生・教職員の皆さまへ

【注意喚起】夏季休暇中の新型コロナウイルス感染予防について

新型コロナウイルス感染症が急速に再拡大しています。流行の中心となっている変異株は、感染力が強く、若者でも重症化しやすいことがわかっています。まもなく夏期休暇がはじまり、人の移動が活発になると感染のリスクはさらに高まります。学生、教職員の皆さまには、感染予防・防止策に努めていただくようお願いいたします。

<夏期休暇の注意>

- ◎ 休暇中は人の移動が活発になり、普段は会わない人たちとの接触によって感染リスクが高くなります。旅行、帰省など遠方への往来はなるべく控えるよう休暇の過ごし方を検討してください。とくに、感染が急増している大都市圏への往来は急用の場合を除いて行わないでください。
- ◎ クラブ活動や研究会、その他のイベントに参加する場合は、「密」を避け、常にマスクを着用し、手洗いを入念に行うなど、基本的な感染防止対策を徹底してください。
- ◎ 大声での発声を伴う行事、スポーツ活動、パーティー等への参加は控えてください。とくにクラブ活動などでの新歓コンパはおこなわないでください。
- ◎ 新型コロナウイルス感染症対策分科会が提言する『5つの場面』を避けるようお願いいたします。

1. 飲酒を伴う懇親会など
2. 大人数や長時間におよぶ飲食
3. マスクなしでの会話
4. 狭い空間での共同生活
5. 居場所の切り替わり

『5つの場面』の詳しい情報は下記のサイトから確認してください。

<https://corona.go.jp/proposal/>

<休暇後の登校について>

- ◎ 学内での感染リスクが高まるのは休暇明けです。大学に登校する前には必ず体調チェックを行い、すこしでも異常があれば登校しないでください。
- ◎ 急用等で感染拡大地域に出かけた人で、感染の可能性が心配な方は大学で用意している検査キットの活用も検討してください。詳細は教務室に問い合わせてください。

以上